

⑬ MOA美術館を中核にした「国際観光温泉文化都市」をめざす熱海の文化観光を推進する拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設(設置者) :

MOA美術館(公財)岡田茂吉美術文化財団)

文化観光推進事業者 :

熱海市、(一社)熱海市観光協会、熱海商工会議所、熱海温泉ホテル旅館協同組合、(公社)静岡県観光協会、(一社)美しい伊豆創造センター、JTB静岡支店

計画期間

2020年度～ 2024年度(5年間)

目標

- ・来訪者の満足度(外国人)
2019年度 65% → 2024年度 75% (+10%)
- ・外国人来訪者数
2019年度 7千人 → 2024年度 11千人 (1.5倍)
※10年後(2029年度)には15千人 (2.1倍)
- ・日本人来訪者数
2019年度 276千人 → 2024年度 319千人 (1.2倍)
- ・来訪者に占める宿泊者・宿泊予定者の割合
2019年度 71.5% → 2024年度 80% (+8.5%)

文化観光拠点施設機能強化事業

<1.文化資源の魅力の増進>

- ・国宝「紅白梅図屏風」や蒔絵作品を活用した展覧会
- ・温泉宿泊客に向けた早朝・夜間の高付加価値プログラム

<2.文化についての理解促進>

- ・館内施設を活用した、茶の湯、着付、能などの日本文化体験

<3.文化観光に関する利便の増進>

- ・MOA美術館から熱海梅園、起雲閣などへの直通バス運行

<4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>

- ・人間国宝作品の販売、館内店舗での和食料理体験

<5.国内外への宣伝>

- ・伊豆の文化財をネットワーク化した広報の実施

<6.施設又は設備の整備>

- ・日本文化体験プログラムための日本庭園、散策道の整備

文化クラスター推進事業費(5年間の計画ベース)

596百万円(うち、補助金285百万円)

計画区域



中核文化観光拠点施設
(主要な文化資源)

主要な文化資源
(文化財等の種類)

飲食施設
販売施設

宿泊施設
その他施設